

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

学習・ 基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技能と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポ 健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教 養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . ., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S200001	田和真紀子	日本語学概説 I	日本語の特徴について言語学の観点から講義する。「日本語」の音声・語彙・文法・表記について、テキストを用いて、専門用語の解説ならびに言語現象のとらえ方を講義する。	言語文化領域の専門科目の一つとして、日本語の語学面における基礎知識と、日本語を学問的に分析する「日本語学」の思考方法を習得する。	・日本語学の基礎的な知識と考え方を習得する。 ・日本語学で用いられる専門用語を用いて、日本語表現に見られる言語現象を説明することができる。	0	0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0
S200508	田和真紀子	日本語学概説 II	日本語の特徴について言語学の観点から講義する。「日本語」の音声・語彙・文法・表記について、テキストを用いて、専門用語の解説ならびに言語現象のとらえ方を講義する。	言語文化領域の専門科目の一つとして、日本語の語学面における基礎知識と、日本語を学問的に分析する「日本語学」の思考方法を習得する。	・日本語学の基礎的な知識と考え方を習得する。 ・日本語学で用いられる専門用語を用いて、日本語表現に見られる言語現象を説明することができる。	0	0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0
S201504	鈴木啓子	日本文学概説 A	近代日本の優れた掌編小説をとりあげ、その解釈と観賞を通して、文学とは何か、文学を読むとはいかなる営為か、日本の近代文学はどのような特色を持ち、どのような命題に向かっていったかを、具体例に則して概説する。	言語文化領域の専門科目として「日本文学」、特に明治維新以降の「近代文学」に関する入門編として、近代文学を読む際に必要な知識・態度・能力を育成する。	・文学的テキスト(小説・詩歌等)の読み方・味わい方の基本姿勢と基礎的方法を具体例に則して修得する。 ・文学テキストに対する各自の「解釈」を言語化して表現できるようになる。	0	0	0.2	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1
S201008	守安敏久	日本文学概説 B	主として森鴎外の作品を題材として、文学的な知識を深めるとともに、考察力を養成する。鴎外の一連の歴史小説を読み進むとともに、その前後に書かれた現代小説をも考察する。 さらに同時代の夏目漱石や自然主義文学の動向を見据えながら、明治末から大正初期にかけての文学史を俯瞰する。	言語文化領域の専門科目として「日本文学」についての知識を深めるとともに、作品鑑賞に当たったの考察力を育成する。	・文学作品を読み、文学的な知識を深めるとともに、考察力を養成する。 ・具体的な作品を通して、文学的な読解力と思考力を育てる。	0	0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0
S202004	荒井礼(担当 田和真紀子)	漢文学概説	中国の散文・韻文がどのような歴史的背景、時代背景から登場したのかを概説する。	言語文化領域の専門科目として、中国文学を読み解くための基礎的な知識・技能を概説する。	・漢文学の魅力と意義を理解する。 ・中国の散文・韻文がどのような歴史的背景、時代背景から登場したのかを理解する。	0	0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

学習・ 基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけてい	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技能と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポ 健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教 養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができてい		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S203507	田和真紀子	日本語学演習 I	中古の和文作品について日本語学的な分析・考察を演習形式で行う。テキストには変体仮名で書かれた影印本を用い、翻刻・語釈・日本語学の観点に基づく考察、それらを元にした現代語訳を行う。	言語文化領域の専門科目の一つとして、日本語学の中でも古典日本語に関する基礎的演習科目としての意義を持つ。古典作品を読解する上で必要な文法・語彙等の基礎知識を習得する。	・古典作品を、原初の姿に近い変体仮名で書かれた影印本で読めるようになる。 ・発表資料を作成することで、日本語学的手法に則った古典作品の語彙・文法等の調査方法を習得する。 ・日本語学における問題点の発見と考察の方法を習得する。	0	0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0
S204007	田和真紀子	日本語学演習 II	中古の和文作品について日本語学的な分析・考察を演習形式で行う。テキストには変体仮名で書かれた影印本を用い、翻刻・語釈・日本語学の観点に基づく考察、それらを元にした現代語訳を行う。	言語文化領域の専門科目の一つとして、日本語学の中でも古典日本語に関する基礎的演習科目としての意義を持つ。古典作品を読解する上で必要な文法・語彙等の基礎知識を習得する。	・古典作品を、原初の姿に近い変体仮名で書かれた影印本で読めるようになる。 ・発表資料を作成することで、日本語学的手法に則った古典作品の語彙・文法等の調査方法を習得する。 ・日本語学における問題点の発見と考察の方法を習得する。	0	0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0
S204503	守安敏久	日本文学演習 I	二葉亭四迷、森鷗外、樋口一葉、泉鏡花、島崎藤村、夏目漱石、谷崎潤一郎、有島武郎、芥川龍之介、横光光一、葉山嘉樹などの短編小説を、受講者に割り当て、担当発表してもらう。	言語文化領域の専門科目として、「日本文学」、特に「近代文学」に関する基礎的演習科目として、近代文学を研究する際に必要な知識と技能を育成する。	・文学作品を題材として、創意ある口頭発表の訓練を積むことを目的とする。 ・テキストの読解を前提として、それに関する諸文献の調査を踏まえたうえで、各自の分析と考察を論評する。 ・文学的な知識と思考を身につけることを目指す。	0	0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0
S204511	鈴木啓子	日本文学演習 I	近代日本の文学作品の解釈・鑑賞を演習形式で行う。今年度は明治・大正期に書かれた短編小説を題材に取りあげる。作品を受講者全員に割り当て、口頭発表を課す。	言語文化領域の専門科目として、「日本文学」、特に「近代文学」に関する基礎的演習科目として、近代文学を研究する際に必要な知識と技能を育成する。	・文学テキストの基本的な研究方法を具体例に則して体験的に修得する。 ・作品研究をテーマとして発表資料を作成し、調査・考察をわかりやすく説明できるようになる。 ・文学テキストの「解釈」をめぐって、論点を設定し、集団で議論する能力と態度を修得する。	0	0	0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

学習・ 基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技能と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポ 健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教 養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S205003	守安敏久	日本文学演習Ⅱ	森鷗外の短編小説を、受講者に割り当て、担当発表してもらう。作品についての高度で創意ある考察と口頭発表が求められる。	言語文化領域の専門科目として、「日本文学」、特に「近代文学」に関する基礎的演習科目として、近代文学を研究する際に必要な知識と技能を育成する。	・文学作品を題材として、創意ある口頭発表の訓練を積むことを目的とする。 ・テキストの読解を前提として、それに関する諸文献の調査を踏まえたうえで、各自の分析と考察を論評する。 ・文学的な知識と思考を身につけることを目指す。	0	0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0
S205011	鈴木啓子	日本文学演習Ⅱ	近代日本の文学作品の解釈・鑑賞を演習形式で行う。今年度は明治・大正期に書かれた短編小説を題材に取りあげる。作品を受講者全員に割り当て、口頭発表を課す。後期のⅡにおいては、各自の考察分析の論文化を指導する。	言語文化領域の専門科目として、「日本文学」、特に「近代文学」に関する基礎的演習科目として、近代文学を研究する際に必要な知識と技能を育成する。	・文学テキストの基本的な研究方法を具体例に則して体験的に修得する。 ・作品研究をテーマとして発表資料を作成し、調査・考察をわかりやすく説明できるようになる。 ・文学テキストの「解釈」をめぐって、論点を設定し、集団で議論する能力と態度を修得する。 ・文学テキストに対する各自の「解釈」を論述できるようになる。	0	0	0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
	小林正行(担当田和真紀子)	日本語学特講	原則として隔年開講。日本語学分野の最新の研究について、他説の紹介や研究背景の説明などを踏まえながら講義する。	言語文化領域の専門科目の一つとして、研究内容が最も注目されている最新の研究書を読み解くことによって、日本語学の研究方法に関する知識を習得する。小学校から高校の国語における「言語項目」の基礎知識となる日本語の考え方や分析方法を習得することができる。	・日本語学の最新研究の内容を理解できるようになる。 ・レポート作成の際に日本語学の先行研究を引用できるようになる。 ・日本語学における問題点の設定と仮説の立て方を理解する。 ・日本語学的な分析の観点を身につける。	0	0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0
S210007	非常勤(担当田和真紀子)	日本語学講読	原則として隔年開講。日本語学分野で最新の研究書、他説の紹介や研究背景の説明などの講義を中心に読み進めていく。	言語文化領域の専門科目の一つとして、研究内容が最も注目されている最新の研究書を読み解くことによって、日本語学の研究方法に関する知識を習得する。小学校から高校の国語における「言語項目」の基礎知識となる日本語の考え方や分析方法を習得することができる。	・日本語学の最新研究の内容を理解できるようになる。 ・レポート作成の際に日本語学の先行研究を引用できるようになる。 ・日本語学における問題点の設定と仮説の立て方を理解する。 ・日本語学的な分析の観点を身につける。	0	0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0
S213553	野本東生	日本文学史(古典)	上代から近世まで、どのような作品が誕生し、それがどのように享受されてきたのかをたどる。	言語文化領域の専門科目として、日本古典文学史の基礎知識を授け、この分野への幅広い興味関心を喚起する。	・古典文学史に関する基礎的知識を修得する。 ・文学作品がどのように誕生し、享受されたかを通史的に把握できるようになる。	0	0	0.2	0.6	0.1	0.1	0	0

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

学習・ 基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技能と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポ 健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教 養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S213553	鈴木啓子	日本文学史 (近代)	日本近代文学の史的展開を、その中心ジャンルとなった「小説」を中心に、明治10年代から昭和初年代にかけて講義する。	言語文化領域の専門科目として、日本近代文学の通史的な基礎知識を授け、この分野への幅広い興味関心を喚起する。	・近代日本文学史がどのように成立展開し、どのような特色を持つかを通史的に理解する。 ・時代 (政治・社会・文化) の変化と関連づけながら、文学の変遷を高所から多角的にとらえる見地を修得する。	0	0	0.2	0.6	0.1	0.1	0	0
S215114	守安敏久	日本文学講読A	原則として隔年開講。主として近代の文学作品をとりあげ、講義講読を行う。年度によって講義内容が異なる。	言語文化領域の専門科目の一つとして、文学作品を題材に、作品を読解・解釈・鑑賞するための学術的な知識・態度・方法を授ける。	・様々な日本文学に触れ、その特色や魅力を深く理解する。 ・日本文学を読解・解釈・鑑賞するための知識・態度・方法を修得する。 学術的な知識と思考を身につけることを目指す。	0	0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0
S215122	鈴木啓子	日本文学講読B	原則として隔年開講。年度毎に時代・文学者・作品・テーマを設定し、上代から近代 (明治期) までの古典的名作をとりあげ、講義講読を行う。年度によって講義内容が異なる。	言語文化領域の専門科目として、上代から近代までの任意の作品を教材に、文語体で書かれた日本文学を読解・解釈・鑑賞するための学術的な知識・態度・方法を授ける。	・上代から近代までの様々な日本文学に触れ、伝統的文学の特色や魅力を深く理解する。 ・文語体や古典的手法を用いて作られた日本文学を読解・解釈・鑑賞するための知識・態度・方法を修得する。	0	0	0.1	0.7	0.1	0.1	0	0
S217508	鈴木啓子	日本文学特講A	原則として隔年開講。年度毎に特定のテーマを設定し、明治から現代までの作家・作品をとりあげ、近代文学研究の先進的な取り組みをわかりやすく講義する。年度によって講義内容が異なる。	言語文化領域の専門科目として、近現代の様々な文学に対する博く高い関心を育むとともに、日本文学を解釈・鑑賞・評価するための学術的な知識・態度・方法を授ける。	・近現代に登場した様々な文学作品に触れ、その特色や魅力を深く理解する。 ・近現代文学を研究するための方法や観点を理解し、自分なりの問題意識を持てるようになる。	0	0	0.1	0.7	0.1	0.1	0	0
S218008	野本東生 (担当鈴木啓子)	日本文学特講B	原則として隔年開講。年度毎に特定のテーマを設定し、上代から近世までの古典文学をとりあげ、古典文学研究の先進的な取り組みをわかりやすく講義する。年度によって講義内容が異なる。	言語文化領域の専門科目として、上代から近世までの古典文学に対する博く高い関心を育むとともに、日本文学を解釈・鑑賞・評価するための学術的な知識・態度・方法を授ける。	・上代から近世に成立した様々な文学作品に触れ、その特色や魅力を深く理解する。 ・古典文学を研究するための方法や観点を理解し、自分なりの問題意識を持てるようになる。	0	0	0.1	0.7	0.1	0.1	0	0

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

学習・ 基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技能と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポ 健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教 養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S653006	天沼 実	英文法・英作文 I	聞き取りや発話の練習と有機的に関連させた英作文演習を通して、学校英文法の学習棄却と再学習・発展学習を行い、総合的な英語表現力の向上をはかる。	言葉の仕組みそのものである文法の知識は英語の学習指導や教材理解・研究のための最重要基盤である。本授業では文法を正しく理解し、効果的に運用するための基礎的な素養を深める。	・高校までの学習英文法の内容を正しく理解し、(作文において) 正確に運用することができる。 ・学習指導や教材理解・研究等の教師の視点から学習英文法について考えることができる。 ・学習英文法に基づき、より発展的な文法項目を学び、運用できる力を身に付ける。	0.1	0	0	0.5	0	0.2	0.2	0
S653006	天沼 実	英文法・英作文 II	聞き取りや発話の練習と有機的に関連させた英作文演習を通して、学校英文法の学習棄却と再学習・発展学習を行い、総合的な英語表現力の向上をはかる。	言葉の仕組みそのものである文法の知識は英語の学習指導や教材理解・研究のための最重要基盤である。本授業では文法を正しく理解し、効果的に運用するための基礎的な素養を深める。	・高校までの学習英文法の内容を正しく理解し、(作文において) 正確に運用することができる。 ・学習指導や教材理解・研究等の教師の視点から学習英文法について考えることができる。 ・学習英文法に基づき、より発展的な文法項目を学び、運用できる力を身に付ける。	0.1	0	0	0.5	0	0.2	0.2	0
	ハウ エドワー	英語学基礎演習 I	英文による英語音声学の入門書を講読し、英語の音声の諸特徴を把握する。とりわけ、発音記号の読み方や表し方に習熟する。また自身の発音の矯正も行う。	中1、高1英語免許修得のために本学部で定める免許所要の必修単位である。	・英文で書かれた専門的内容を読み取ることに慣れる。 ・辞書や教科書などで用いられている発音記号の意味を理解する。 ・自身の発音や発声の仕方を客観的に把握する。	0.1	0	0	0.4	0.1	0.2	0.2	0
	ハウ エドワー	英語学基礎演習 II	英語学基礎演習 I に引き続き、英文による英語音声学の入門書を講読し、英語の音声の諸特徴を把握する。イントネーションにも注意を払い、発声・発音の練習を行う。	中1、高1英語免許修得のために本学部で定める免許所要の必修単位である。	・英文で書かれた専門的内容を読み取ることに慣れる。 ・辞書や教科書などで用いられている発音記号の意味を理解する。 ・自身の発音や発声の仕方を客観的に把握する。	0.1	0	0	0.4	0.1	0.2	0.2	0
S660002	天沼 実 谷 光生	英語学演習 AI	英文法など英語研究をテーマとした初歩的な原書読解演習を通じて実践的な英文法運用の訓練と英語の言語学的研究への導入をはかる。	言語文化領域専門科目中の英語学・言語学関連の導入的な科目であり、言語の科学研究に関する基礎的専門知識や方法論習得への入門にあたる	・ことばや文法をテーマとした導入的な専門文献(原書)を読むことができる。 ・言語の実態に客観的、科学的に接近しようとする態度が身につけている。	0.1	0	0	0.4	0.1	0.2	0.2	0

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

学習・基盤教育 教育目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技能と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S660005	天沼 実 谷 光生	英語学演習AII	英文法など英語研究をテーマとした初歩的な原書読解演習を通じて実践的な英文法運用の訓練と英語の言語学的研究への導入をはかる。	言語文化領域専門科目中の英語学・言語学関連の導入的な科目であり、言語の科学研究に関する基礎的専門知識や方法論習得への入門にあたる。	・ことばや文法をテーマとした導入的な専門文献(原書)を読むことができる。 ・言語の実態に客観的、科学的に接近しようとする態度が身についている。	0.1	0	0	0.4	0.1	0.2	0.2	0
S660006	天沼 実 谷 光生	英語学演習BI	現代の言語学(特に英語学)の基礎を主として演習形式で学ぶ。その際、学校文法における重要な取り扱い項目の幾つかを具体例として取り上げる。	言語文化領域専門科目中の英語学・言語学関連の専門基礎的な科目であり、言語の科学研究に関する基礎的専門知識や方法論の理解を深める。	・言語学関連の専門文献を読む力を養う。 ・言語の実態を多面的に捉える力を養う。 ・自身の言語運用を客観的に捉える。	0.1	0	0	0.4	0.1	0.2	0.2	0
S660007	天沼 実 谷 光生	英語学演習BII	言語学の初歩的知識を基盤にして、現代英語の実態を演習形式で観察する。	言語文化領域専門科目中の英語学・言語学関連の専門基礎的な科目であり、言語の科学研究に関する基礎的専門知識や方法論の理解を深める。	・言語学関連の専門文献を読む力を養う。 ・言語の実態を多面的に捉える力を養う。 ・自身の言語運用を客観的に捉える。	0.1	0	0	0.4	0.1	0.2	0.2	0
S654002	大野直美 (非常勤・担当 幡山秀明)	イギリス文学演習AI	イギリスの文学作品を取り上げる。Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。	言語文化領域の専門科目としてイギリス文学作品の読解力や分析力を養う導入的演習を通して総合的な人文的素養を高めることに資する。	英国文学を理解するために必要な文化・社会・歴史等の知識を得る方法を学習し、原著で作品に慣れ親しむことができる。	0.1	0	0	0.3	0	0.2	0.3	0.1
S654002	大野直美 (非常勤・担当 幡山秀明)	イギリス文学演習AII	イギリスの文学作品を取り上げる。Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。	言語文化領域の専門科目としてイギリス文学作品の読解力や分析力を養う導入的演習を通して総合的な人文的素養を高めることに資する。	英国文学を理解するために必要な文化・社会・歴史等の知識を得る方法を学習し、原著で作品に慣れ親しむことができる。	0.1	0	0	0.3	0	0.2	0.3	0.1
S655009	大野直美 (非常勤・担当 幡山秀明)	イギリス文学演習BI	イギリスの文学作品を取り上げる。Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。	言語文化領域の専門科目としてイギリス文学作品の読解力や分析力を養う導入的演習を通して総合的な人文的素養を高めることに資する。	英国文学を理解するために必要な文化・社会・歴史等の知識を得る方法を学習し、原著で作品に慣れ親しむことができる。	0.1	0	0	0.3	0	0.2	0.3	0.1
S655009	大野直美 (非常勤・担当 幡山秀明)	イギリス文学演習BII	イギリスの文学作品を取り上げる。Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。	言語文化領域の専門科目としてイギリス文学作品の読解力や分析力を養う導入的演習を通して総合的な人文的素養を高めることに資する。	英国文学を理解するために必要な文化・社会・歴史等の知識を得る方法を学習し、原著で作品に慣れ親しむことができる。	0.1	0	0	0.3	0	0.2	0.3	0.1

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

学習・ 基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけてい	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技能と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポ 健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができてい		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S656005	幡山秀明	アメリカ文学演習AI	中高の英語教科書関連する文学作品を取り上げる。「物語」(「歌」「詩」「映画」「伝記」も含む)を中心に取扱いながら、Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。また、受講生による模擬授業として teaching plan作成からプレゼンまで行う。	言語文化領域の専門科目としてアメリカ文学作品の読解力や分析力を養う導入的演習を通して総合的な人文的素養を高めることに資する。	日本の中学・高校の英語の教科書内容を吟味しながら、それに関連する英語圏文化や文学につながる事項をピックアップして、実際の授業に直接的、間接的に役立つ情報を集め、理解を深めることができる。語学教育の背景としての豊かな知識を形成できる。	0.1	0	0	0.3	0	0.2	0.3	0.1
S656005	幡山秀明	アメリカ文学演習AII	引き続き、中高の英語教科書関連する文学作品を取り上げる。「物語」(「歌」「詩」「映画」「伝記」も含む)を中心に取扱いながら、Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。また、受講生による模擬授業として teaching plan作成からプレゼンまで行う。	言語文化領域の専門科目としてアメリカ文学作品の読解力や分析力を養う導入的演習を通して総合的な人文的素養を高めることに資する。	日本の中学・高校の英語の教科書内容を吟味しながら、それに関連する英語圏文化や文学につながる事項をピックアップして、実際の授業に直接的、間接的に役立つ情報を集め、理解を深めることができる。語学教育の背景としての豊かな知識を形成できる。	0.1	0	0	0.3	0	0.2	0.3	0.1
S657001	幡山秀明	アメリカ文学演習BI	中高の英語教科書関連する文学作品を取り上げる。「物語」(「歌」「詩」「映画」「伝記」も含む)を中心に取扱いながら、Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。また、受講生による模擬授業として teaching plan作成からプレゼンまで行う。	言語文化領域の専門科目としてアメリカ文学作品の読解力や分析力を養う導入的演習を通して総合的な人文的素養を高めることに資する。	日本の中学・高校の英語の教科書内容を吟味しながら、それに関連する英語圏文化や文学につながる事項をピックアップして、実際の授業に直接的、間接的に役立つ情報を集め、理解を深めることができる。語学教育の背景としての豊かな知識を形成する。	0.1	0	0	0.3	0	0.2	0.3	0.1
S657001	幡山秀明	アメリカ文学演習BII	引き続き、中高の英語教科書関連する文学作品を取り上げる。「物語」(「歌」「詩」「映画」「伝記」も含む)を中心に取扱いながら、Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。また、受講生による模擬授業として teaching plan作成からプレゼンまで行う。	言語文化領域の専門科目としてアメリカ文学作品の読解力や分析力を養う導入的演習を通して総合的な人文的素養を高めることに資する。	日本の中学・高校の英語の教科書内容を吟味しながら、それに関連する英語圏文化や文学につながる事項をピックアップして、実際の授業に直接的、間接的に役立つ情報を集め、理解を深めることができる。語学教育の背景としての豊かな知識を形成できる。	0.1	0	0	0.3	0	0.2	0.3	0.1
S669107	谷 光生	英語学特殊講義A	理論言語学(形態論, 統語論, 意味論, 語用論)の基礎を講義する。主として現代英語からの具体例を用いる。	言語文化領域専門科目中の英語学・言語学関連の発展・応用的な科目であり、言語の科学的研究に関する基礎的専門知識の理解を深めつつ、具体的な問題の設定や取り組みの方法を身に付ける。	・理論言語学の基礎的知識を養う。 ・高等学校までで習得した文法に対する批判的かつ発展的知識を養う。 ・自身の言語運用を客観的に捉える。	0	0	0	0.4	0.3	0.2	0.1	0

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

学習・ 基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技能と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポ 健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教 養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S670105	谷 光生	英語学特殊講義B	理論言語学(形態論, 統語論, 意味論, 語用論)の基礎を講義する。主として現代英語からの具体例を用いる。	言語文化領域専門科目中の英語学・言語学関連の発展・応用的な科目であり、言語の科学的研究に関する基礎的専門知識の理解を深めつつ、具体的な問題の設定や取り組みの方法を身に付ける。	・理論言語学の基礎的知識を養う。 ・高等学校までで習得した文法に対する批判的かつ発展的知識を養う。 ・自身の言語運用を客観的に捉える。	0	0	0	0.4	0.3	0.2	0.1	0
S666108	天沼 実	英語学特殊講義C	理論言語学(形態論, 統語論, 意味論, 語用論)の基礎を講義する。主として現代英語からの具体例を用いる。	言語文化領域専門科目中の英語学・言語学関連の発展・応用的な科目であり、言語の科学的研究に関する基礎的専門知識の理解を深めつつ、具体的な問題の設定や取り組みの方法を身に付ける。	・理論言語学の基礎的知識を養う。 ・高等学校までで習得した文法に対する批判的かつ発展的知識を養う。 ・自身の言語運用を客観的に捉える。	0	0	0	0.4	0.3	0.2	0.1	0
S673007	幡山秀明	アメリカ文学史	アメリカ文学史上代表的な作家と作品を精選し、その歴史的社会的意義や価値について講義する。	言語文化領域専門科目として、英語教科書に散見する文化的・文学的情報を歴史の枠組みの中で整理し、現代社会や人間の問題を考察する。	この文学史は、文学や文化に関する様々な情報を体系的に位置付け、さらに、それを現在の社会や人間の問題を考察する糸口にしていく。アメリカの植民地時代から第二次世界大戦後、今日までを概観し、それぞれの時代の文学作品の特徴について紹介する。異文化理解のために断片的で無秩序な情報を体系的に理解する枠組みを形成する。	0.1	0	0	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1
S674003	市川裕見子	イギリス文学史	古代、中世から現代にわたるイギリス文学史を概観します。	各学生の専攻に応じて、教養として、または専門の研究に必要な基礎知識として役立ててください。	イギリス文学の生成、発展、消長をイギリスの文化、歴史、社会的背景のなかに位置づけ、理解し、把握した上で、なおそれらを味わう素養を養います。	0.1	0	0	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2
S674003	幡山秀明	英米文学特殊講義A	アメリカ文学史上代表的な作家と作品を精選し、その歴史的社会的意義や価値について講義する。	言語文化領域専門科目として、英語教科書に散見する文化的・文学的情報を歴史の枠組みの中で整理し、現代社会や人間の問題を考察する。	文学や文化に関する様々な情報を体系的に位置付け、それを現在の社会や人間の問題を考察する糸口にしていく。異文化理解のためにも断片的で無秩序な情報を体系的に理解する枠組みを形成することができる。	0.1	0	0	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1
S677002	幡山秀明	英米文学特殊講義B	文学作品を読みながら、その芸術的価値について論じる。	英語による芸術作品を理解することは、英語教育に大きな力を与える。	英語の文学作品の分析と鑑賞ができる。	0.1	0	0	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

学習・ 基盤教育 教育目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的スキルと幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S679005	幡山秀明	英米文学特殊講義C	文学作品を読みながら、その芸術的価値について論じる。	英語による芸術作品を理解することは、英語教育に大きな力を与える。	英語の文学作品の分析と鑑賞ができる。	0.1	0	0	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1
S683002	天沼 実 ハウ エド ワード	現代英語総合演習	英語の終日集中訓練プログラム(Intensive Training Course of English)を受講者がTA(Teaching Assistant) となって自ら企画し、実施する。	英語を活用した総合的な教育活動の主体的体験は専門的スキルとしての英語の実践的運用力を高めるだけでなく、自主的な課題設定や解決への取り組み、検証などの実践的な訓練の場となる。	・プログラムの企画と実施を通して英語の実践的運用力、企画・運営力、ヒューマンスキルなどを習得し、向上させる。	0.2	0	0	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1
S686104	ハウ エドワード	現代英語表現法演習Ⅱa	大学中級～中上級相当の英会話および英作文の複合的・総合的な英語表現(パラグラフィティング、スピーチライティング、オーラルプレゼンテーションなど)の演習を行う。	この授業は、言語文化領域における専門的スキルとしての英語の総合的な運用能力の更なる発展を図るものである。	・日常的なことや身の回りのことについて不自由なく英語で表現できるだけでなく、学術的、社会的な問題や抽象的な話題などについて論理的に意見を述べ、書くことができる。	0.2	0	0	0.4	0	0.2	0.2	0
S686282	ハウ エドワード	現代英語表現法演習Ⅱb	大学中級～中上級相当の英会話および英作文の複合的・総合的な英語表現(パラグラフィティング、スピーチライティング、オーラルプレゼンテーションなど)の演習を行う。	この授業は、「現代英語表現法演習Ⅱa」を踏まえ、言語文化領域における専門的スキルとしての英語の総合的な運用能力の更なる発展を図るものである。	・日常的なことや身の回りのことについて不自由なく英語で表現できるだけでなく、学術的、社会的な問題や抽象的な話題などについて論理的に意見を述べ、書くことができる。	0.2	0	0	0.4	0	0.2	0.2	0
S659004	米山正文	アメリカ文化論	米国の文化や歴史について多角的な観点から概観する。	米国について学ぶことで、異文化への知識や理解を深める。	米国の歴史・文化について知識と理解力を身につける。	0.1	0	0	0.4	0	0.1	0	0.4
S658008	高際澄雄	イギリス文化論	日本人になじみの深い国でありながら、その実情の知られていないイギリスの文化について、実態を明らかにするとともに、イギリス人とのコミュニケーションが可能となるように、イギリス文化を英語により論ずる。	イギリス文化を学ぶことで、文化の多様性について理解を深めるとともに、英語の背景文化についての知識を得る。	イギリス文化の実態を知り、イギリス人と意思疎通ができるコミュニケーション能力の基礎を身につける。	0.1	0	0	0.4	0.1	0.1	0.1	0.2
S950200	湯澤伸夫	言語と音声	英語の音声の特徴を分節音とプロソディの両面から体系的に学ぶ。	英語の音声の特徴を深く理解し、正確に発音できるようになることは、言語文化領域における専門的知識を深めるとともに、専門的スキルを深めると強い関連性がある。	英語の音声の特徴を学問的に理解し、発音記号やイントネーションの記号を活用し、英語の音声を正確に発音できることを目標とする。	0.1	0	0	0.4	0.1	0.3	0.1	0

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

学習・ 基盤教育 教育目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技能と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S255507	吉村 均 (非常勤・担当山田有希子)	倫理学概論	人生にはすでに答えがある問いよりも答えが無い問いの方がはるかに多い。倫理学は「いかに生きるか」という後者の問いに取り組む学であり、西洋の知識や技術を取り入れるという発想で作られた学校教育制度のなかで、いかにあるべきかは、いまだ模索の途上にある。数々の先人の思想を手がかりに、問いを深める倫理思想史の方法を学んでいく。	言語文化領域の1専門分野である「倫理学」に関する入門編としての意義を持つ。	・倫理思想史に関する基礎知識を身につける。 ・あらかじめ正解が用意されているわけではない問いについて考える力を身につける。 ・社会生活において求められる「いかに生きるべきか」という問いに、倫理学の立場から考えることができる。	0	0	0.1	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1
S950205	守安敏久	表象文化概論	原則として隔年開講。文学・演劇・映画などの作品を解説し、作家やその社会背景の知識を深めるとともに、表象文化についての考察力を養成する。	言語文化領域の専門科目の一つとして、さまざまな表象文化について、作品を読解するための考察力を育成する。	・さまざまな文化現象に触れ、その特色や魅力を深く理解する。 ・作品が生まれた社会的・文化的背景について考察する。 ・作品読解のための多角的な知識と思考を身につけることを目指す。	0	0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0
S950210	守安敏久	日本文化論特殊講義	原則として隔年開講。日本における文化現象を解説し、その歴史的・社会的背景についての理解を深めるとともに、日本文化についての多角的な考察力を養成する。	言語文化領域の専門科目の一つとして、さまざまな日本文化についての知識と思考を深める。	・さまざまな日本文化に触れ、その特色や魅力を深く理解する。 ・文化が生まれた歴史的・社会的背景について考察する。 ・文化解読のための多角的な知識と思考を身につける。	0	0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0
S950215	天沼 実	英米語研究特殊講義	英語学、英米文学等、英語研究に関わる個別のテーマを扱った講義または演習を行い、英語研究についての多角的、発展的な知見を深める。	英語学、英米文学等、英語研究に関わる個別のテーマを取り上げ、言語文化領域における専門的知識・技能を深めることを狙いとする授業である。	英語学、英米文学等、英語研究に関わる専門的知識・技能を身につけている。	0.1	0	0	0.2	0.1	0.3	0.3	0
S950220	全教員	言語文化演習 I	内容は言語文化に関して各自が自立的に決定した分野・テーマ等とそれに応じた指導教員の助言による。当該分野等の方法論や思考法、基本的な知見などを学ぶ。	各自の分野やテーマに応じて、専門的な知見や問題設定の手順、接近法あるいは思考法などの初歩を学ぶ。言語文化領域における必修科目であり、4年次の「卒業研究A」に直結する準備演習である。	各自の専門研究分野やテーマに応じた基礎的な知見を身につけること。 各自の専門研究分野やテーマに応じた接近方や思考法の初歩を身につけていること。	0	0	0.1	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (言語文化領域)

学習・基盤教育 教育目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技能と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S950225	全教員	言語文化演習 II	「言語文化演習 I」の履修と指導教員の助言を踏まえ、卒業研究テーマを具体化し、方法論・思考法の習得・運用の訓練や基礎調査の遂行などを進め、研究テーマの絞り込みと課題の具体化・明確化を図る。	Iでの学習を踏まえ、専門分野における課題の発見・設定し、論理的・科学的な思考およびそれに基づく実践等により主体的に解決に取り組むことを学ぶ。4年次の「卒業研究A」に直結する準備演習である。	各自の専門研究分野やテーマに応じた先行研究例などに関する具体的な知見を理解していること。 具体的な研究テーマを設定すること。 各自の専門研究分野やテーマに応じた接近法や思考法に基づき、設定した課題に主体的に取り組む姿勢を身に付けていること。	0	0	0.1	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1
	全教員	卒業研究A	「言語文化演習 I・II」の履修を踏まえ、各自師事する専門教員の指導により言語文化領域に関わる専門的なテーマについて卒業論文を作成する。	言語文化領域の専門分野における自己設計カリキュラムによる学習の仕上げである。	各自の専門研究分野やテーマに応じ、思考法や先行研究例などを踏まえた有意義な問いあるいは研究目標を立てることができる。 課題解決へ向けて、資料収集や観察などを独自に行い、先行する知見を検証することができる。 論理的、科学的な立論により、自らの分析や見解を明晰に述べることができる。	0	0	0.1	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1